

＜リチウムイオン電池の過充電試験、過放電試験＞

過充電試験は、誤作動により設定された上限充電電圧以上に充電された場合や設定された下限放電電圧以下に放電された場合、発熱、発煙、発火、破裂する可能性があり、その危険性を確認する試験です。

試験は小型電池（セル）から大型電池（モジュール/パック）まで対応が可能です。

ご要望の電流/電圧帯に応じて、使用する電源装置を選択して試験を行います。試験では過充電での現象の確認、ビデオ録画、温度、電圧、電流変化の計測を行います。また、発生したガスを回収し、発生ガス総量測定や成分分析も可能です。試験実施にあたって、条件詳細については、お打ち合わせの上、決定いたします。

● 過充電試験事例

